

福岡県立筑豊高等学校 令和6年度 第2学期終業式 式辞

時の経つ速さをひしひしと感じる、この12月。今年も残すところ、あと11日となりました。2学期は、地球の沸騰化、酷暑を実感しながら、リモートでの始業式で始まりました。始業式では、皆さんに節目の時として、「長い2学期、このことに力をいれたい」という目標設定をし、悔いなくチャレンジし、努力を重ね取り組んでほしいとお願いをしました。さて、皆さん一人ひとりの達成度はどうだったのでしょうか。

学校全体の2学期を振り返ってみると、本校の三大大行事であるブロックマッチ、文化祭、課題研究生徒実践発表会を保護者や来賓の方々にもご参加いただき、盛会に開催することができました。本校の学びの集大成を発表する貴重な機会となり、「実学の筑豊」、「育成の筑豊」の良さを知ってもらうことができ、何より皆さんの活躍、成長ぶりに大変感動しました。また、多くの行事で本校でなければ紡ぐことのできない1年生から3年生までの「チーム筑豊」、学年、学科を超えて、縦と横の絆作りもできたものと嬉しく思っています。商業科と生活デザイン科が校内外において活動してきた一つ一つの特色ある教育活動についても、直方市はもとより、地域社会において高い評価をいただくことができました。3年生においては就職希望者がそれぞれ応募企業から内定をいただき、進学希望者も確実に合格をつかみ、希望進路の実現を果たしています。部活動においては、今年度の功績が認められ、陸上競技部、書道部、ビジネス・ワープロ部、ソフトテニス部、インターアクト部の5つの部活動が同窓会部活動表彰をしていただきました。陸上競技部3年の工藤さんにおいては、福岡県教育文化表彰という学校としても大変名誉な賞を受け、さらには、20歳以下のオリンピック育成競技者として、次のロサンゼルスオリンピックに向けたプログラムに取り組んでいます。これからの活躍も楽しみです。2学期は、次年度の1年生を迎えるための体験入学や学校説明会も実施しました。うれしいことに、先日、中学校を訪問すると、「筑豊高校の在校生の皆さんが体験入学で大変親切に教えてくれ、授業規律もしっかりしていて、筑豊高校を受験したいと言っています。」と中学校の先生からお話を聞くことができました。皆さんの活躍と協力のお陰です。ありがとうございます。この2学期を振り返り、全校生徒のみなさん、本当によく頑張りました。

さて、今日はここでみなさんに、先日の課題研究生徒実践発表会にご参加いただいた来賓の方からのお礼状を紹介させていただきます。【お礼状】これは、前同窓会長の、長谷川 裕一様からいただいたものです。この筑豊高校、皆さんの偉大なる先輩で、現在はお仏壇のはせがわの相談役をされています。今回、有り難い教えをいただき、皆さんと共有させていただきました。また、機会があれば直接お話を伺いたいと思っています。

最後に、今年は、年始早々に能登半島地震が発生し、災害への意識が高まった1年になりました。また、先日県内で発生した中学生殺傷事件では、身近な所で命の危険を感じることもあると想定し、万が一の事態の時は、躊躇せず大声を出すなど、自分の身を守る行動を行なってほしいと思っています。

「おかげさまで」と、感謝の心をお世話になった方々へ伝える12月。明日からの冬休みが、みなさんにとって有意義な時間となり、希望に満ち溢れた新年を迎え、全校生徒の皆さんと、また、3学期始業式で会えることを切に願い、式辞といたします。

令和6年12月20日

福岡県立筑豊高等学校 校長 石井 ひとみ